

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅲ	c		17109	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	必修	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

授業の到達目標

演習Ⅱで見出した研究テーマと研究計画に基づき、具体的な調査を通して研究テーマに迫る。そのため、的確なデータの収集と分析を行い考察を深める。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）、I（知性）、E（倫理）を養う。

授業の概要

研究計画に沿って、先行文献調査と実地調査の両方を実施する。また、適切な調査方法や分析方法について解説し、各自の調査を指導・支援する。調査結果についての発表や討議を踏まえ、今後の研究の見直しをもつようにする。

授業計画

- 1 演習Ⅲの進め方について
- 2 卒業研究・論文のまとめ方について
- 3 研究対象と調査期間について
- 4 研究方法と分析方法について
- 5 調査の進捗報告と討議①
- 6 調査の進捗報告と討議②
- 7 各自の先行文献調査のまとめ①
- 8 各自の先行文献調査のまとめ②
- 9 「問題と目的」の発表・討議①
- 10 「問題と目的」の発表・討議②
- 11 「研究方法」の発表・討議①
- 12 「研究方法」の発表・討議②
- 13 仮説と今後の見直しについて発表・調整①
- 14 仮説と今後の見直しについて発表・調整②
- 15 まとめを行ってから試験をする
- 16

授業の方法

各自の報告内容が授業の根幹となる。全体討議では積極的に自己の発表や他者への助言を行い学び合う姿勢を重視する。互いに研究推進へのよい刺激を受け、研究意欲と研究内容を高め合うようにする。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

- ①作成した資料の提出と発表を毎回実施し、そのフィードバックは授業内に行う
- ②平常点70%、定期試験30%
- ③卒業研究ルーブリックに中間自己評価を記入する

欠席について

欠席1回につき5点減点、遅刻1回につき2点減点とする。

テキスト

必要に応じて適宜紹介する。

参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

留意事項

各自で研究推進への確かな目標をもち、質的・量的調査について計画的に進めること。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅲ	d		17109	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
中植 満美子	必修	2	臨床心理士、公認心理師、教育相談員（神戸市教育委員会）、スクールカウンセラー（神戸市）、施設心理士			

授業の到達目標

心の理解者として、また、心の研究者として心がけるべき見方や考え方を身につけ、具体的なデータに基づきながら分析、考察の方法を学ぶ。他者と考えや疑問を共有できるような姿勢を習得する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とA（自律）とI（知性）とE（倫理）とを養う。

授業の概要

卒業研究の作成に向けて文献の収集、講読、要約、発表、討議を行う。各自が自分の研究テーマに関する先行研究を読解し、紹介する機会を通じて、自分の研究テーマと研究計画を作成する。心理学研究方法や分析の方法についても復習する。

授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 リサーチ1・発表・ディスカッション1
- 3 リサーチ2
- 4 リサーチ3
- 5 リサーチ4
- 6 各自の研究の問題と目的について設定・発表
- 7 各自の研究の手法、調査、手続きについて進行報告、ディスカッション1
- 8 進行報告2
- 9 進行報告3
- 10 調査報告1
- 11 調査報告2
- 12 調査報告3
- 13 結果のまとめ方について1
- 14 結果のまとめ方について2
- 15 結果のまとめ方について3

授業の方法

卒業研究の作成に向けて文献の収集、講読、要約、発表、討議を行う。各自が自分の研究テーマに関する先行研究を読解し、紹介する機会を通じて、自分の研究テーマと研究計画を作成する。心理学研究方法や分析の方法についても復習する。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

毎週の課題の提出状況と演習への参加状況を評価の対象とする。

欠席について

欠席1回につき5点、遅刻1回につき2点の減点とする。5回を超える欠席は不合格とする。

テキスト

各受講生の研究テーマに応じて、適宜紹介する。

参考図書

適宜紹介する。

留意事項

課題の提出は毎週とする。心理統計法を受講していることが望ましい。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅳ	c		17113	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	必修	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

授業の到達目標

演習Ⅲに引き続き、具体的な調査結果に基づき考察を繰り返し、卒業研究としてまとめる。様々な視点から研究を見直すことや見解の違いを受け入れ、改善に向けて努力する。そして、自己の研究内容を高めるようにする。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）A（自律）I（知性）E（倫理）を養う。

授業の概要

各自の調査における分析結果を発表・討議する。他者の考え方や見方、分析結果の読み取り方に触れることで、客観性をもたせ、考察をより深めるようにする。

授業計画

- 1 分析結果報告・仮説の検証①
- 2 分析結果報告・仮説の検証②
- 3 分析結果と考察①
- 4 分析結果と考察②
- 5 分析結果と考察③
- 6 分析結果と考察④
- 7 分析結果と考察⑤
- 8 研究のまとめと総合考察①
- 9 研究のまとめと総合考察②
- 10 今後の課題について
- 11 分析結果一覧表の作成
- 12 卒業研究の校正①
- 13 卒業研究の校正②
- 14 最終発表と調整
- 15 まとめ
- 16

授業の方法

各自の調査結果の報告とその読み取りに関して、個人やグループでの発表・討議を通して考察を深める。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

- ①作成した資料の提出と発表を毎回実施し、そのフィードバックは授業内に行う
- ②平常点70%、定期試験30%
- ③卒業研究ルーブリックに最終自己評価を記入する

欠席について

欠席1回につき5点減点、遅刻1回につき2点減点する。

テキスト

必要に応じて適宜紹介する。

参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

留意事項

口頭試問まで主体的に取り組み、研究に対する意欲と責任感を持ち続けること。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅳ	d		17113	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
中植 満美子	必修	2	臨床心理士、公認心理師、教育相談員（神戸市教育委員会）、スクールカウンセラー（神戸市）、施設心理士			

授業の到達目標

心の理解者として、また、心の研究者として心がけるべき見方や考え方を身につけ、具体的なデータに基づきながら分析、考察の方法を学ぶ。他者と考えや疑問を共有できるような姿勢を習得する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とA（自律）とI（知性）とE（倫理）とを養う。

授業の概要

卒業研究作成のために、全体指導と個別指導を実施する。研究経過の発表や討議を重ねながら、卒業研究を完成させる。

授業計画

- 1 調査結果のまとめ1
- 2 調査結果のまとめ2
- 3 調査結果のまとめ3
- 4 結果報告1
- 5 結果報告2
- 6 結果報告3
- 7 結果報告4
- 8 まとめと考察1
- 9 まとめと考察2
- 10 まとめと考察3
- 11 要約作成・発表1
- 12 要約作成・発表2
- 13 要約作成・発表3
- 14 研究発表1
- 15 研究発表2

授業の方法

卒業研究の進捗状況の報告、プレゼンテーションと質疑応答が中心となる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

課題の提出状況、演習への参加状況を評価の対象とする。

欠席について

1回の欠席につき5点、遅刻につき2点の減点とする。5回を超える欠席は不合格とする。

テキスト

受講生の研究テーマに応じて適宜紹介する。

参考図書

適宜紹介する

留意事項

心理統計法を受講していることが望ましい。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
児童文学	PC	17437	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
宮副 紀子／箕野 聡子	選択	2	私立中学高等学校教員(科目「社会」)(箕野) 私立中学高等学校教員(科目「英語」)(宮副)		

授業の到達目標

初等国語の一貫として、児童文学を学ぶことにより、文化におけるこども観を理解するとともに、文学作品の読解力を養うことを目的とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのI(知性)を養う。(箕野)

すぐれた児童文学は普遍的テーマを有しており、子どもだけでなく大人にも深い感動を与えてくれる。海外の代表的な児童文学を鑑賞することにより、様々な視点から文学を読解する力を養うことを目的とする。KAISEIパーソナリティのA(自律)とI(知性)、In(国際性)を養う。(宮副)

授業の概要

日本の近現代児童文学を取り上げる。日本の児童文学は、初めは大人の側に立ったものであった。そこには、発表当時の日本文化が反映され、大人が子どもに求めた理想がわかりやすい言葉で表現されている。児童文学がそのような観念から脱し、子どもの世界を獲得していく様子を考察する。(箕野)

英米の児童文学の文化と歴史を学びながら英米の代表的な児童文学作品について考察する。また英米以外ではフランスの1作品を鑑賞する。(宮副)

授業計画

- 1 巖谷小波「日本昔噺其一 桃太郎」
- 2 「金太郎」・「酒呑童子伝説」
- 3 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」
- 4 有島武郎「一房の葡萄」
- 5 与謝野晶子「きんぎょのおつかい」
- 6 岡田淳「童退治の騎士になる方法」
- 7 日本の現代児童文学について
- 8 英米の児童文学の歴史
- 9 ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』
- 10 ナーサリーライム(マザーグース)
- 11 L.M.オルコット『若草物語』
- 12 R.L.スティーブンソン『宝島』
- 13 L.F.ボーム『オズの魔法使い』
- 14 ペアトリクス・ポター『ピーターラビットのおはなし』と代表的な絵本

15 アントワーン・ド・サン＝テグジュペリ『星の王子様』

授業の方法

講義中心の授業である。必要に応じて映像鑑賞も行う。(箕野)

講義と発表形式で授業を実施する。講義だけでなく、学生の発表、およびグループディスカッションにより授業をすすめる。(宮副)

準備学修

Web参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験(レポート)30%で評価する。また、毎回ノートの提出を求める。ノートは、次の週に教員が評価して返却する。(箕野)

平常点30% レポート(2回)50% 提出物等20%、で評価する。(宮副)

レポートは2回であるが、ミニレポートの提出も2~3回求める。

欠席について

規定に従う。

テキスト

随時、プリントを配布する。(箕野)

『英米児童文化55のキーワード』白井澄子、笹田裕子編著 ミネルヴァ書房、および、プリントを配布する。(宮副)

参考図書

必要に応じて、授業中に随時紹介する。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子どもと言葉		17439	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
森 晴美	選択	1	公立幼稚園教員、私立保育所保育士		

授業の到達目標

(1) 人間の言葉の意義と機能では、人間の言葉の意義と機能を理解し、言葉の発達過程とその特徴について理解すること (2) 言葉に対する感覚を豊かにする実践では、言葉の感覚を豊かにする指導について基礎的な知識や、言葉の楽しさや美しさに気づき、言葉を育む基礎的に実践を身に付ける (3) 言葉を育て、想像する楽しさを広げる児童文化財と実践について、その意義について説明できるように、児童文化財を教材とした基礎的な実践を身に付ける。以上を目標とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのA(自律)とI(知性)を養う。

授業の概要

領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な基礎的知識を身に付ける。人間らしさの特徴でもある言葉の意義と機能を理解し、幼児の言葉を豊かに育み、言葉に対する感覚を豊かにする教材や実践に関する知識と技能を身に付ける。

授業計画

- 1 人間の言葉とその機能及び意義
- 2 子どもの言葉の発達過程
- 3 言葉に対する感覚を豊かにすることの重要性
- 4 言葉に対する感覚を豊かにする保育の実践(情報機器及び教材の活用を含む)
- 5 子どもの言葉を豊かに育む児童文化財とその意義
- 6 子どもの言葉を豊かに育む絵本・物語・紙芝居
- 7 子どもの言葉を豊かに育む教材を使った保育の実践(情報機器及び教材の活用を含む)
- 8 子どもの言葉による伝え合いと小学校教育への接続
- 9

授業の方法

講義とディスカッション、発表を取り入れる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

レポートの提出や教材提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき2点減点、遅刻1回につき1点の減点とする。

テキスト

文部科学省『幼稚園教育要領解説』平成30年 株式会社フレーベル館
厚生労働省『保育所保育指針解説』平成30年 株式会社フレーベル館
内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』平成30年 株式会社フレーベル館

参考図書

太田光洋、古相正美、野中千都『保育ニュー・スタンダード 保育内「言葉」一話し、考え、つながる言葉の力を育てる』2021年 株式会社同文書院 その他適宜配布する

留意事項

日頃から、絵本に親しみ読書量を増やすように努めること。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子どもと表現（造形）		17510	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
森 晴美	選択	1	公立幼稚園教員、私立保育所保育士		

授業の到達目標

(1) 乳幼児の表現の発達過程を理解できるように、表出から表現に至る乳幼児の心身の発達を説明できることや、表現を豊かにする題材、事物との出会いの重要性を説明できるようになること、
(2) 保育における身体・音楽・造形等の多様な表現に関する知識・技能を身に付けるように、イメージを豊かに育み、情緒を安定させ自分らしい表現ができることや、多様な表現を組み合わせたり、鑑賞したりして豊かな感性を育むことの説明ができるようになることを目指す。また協同活動により豊かな表現につなげていくことの大切さがわかることを目標とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）の育成を目指す。

授業の概要

豊かな感性や表現する力を養う領域「表現」の指導の基盤となる、幼児期の表現やその発達、創造性や感性を育む環境構成等の知識・技能・表現力を身に付ける。

授業計画

- 1 領域「表現」のねらいと内容、造形表現の理解
- 2 乳幼児の表出から表現へかく・つくるに着目した発達の特徴と過程
- 3 身近な自然を体感し、身体感覚を通して表現する
- 4 素材の特性を知り、発達に即して具体的な表現にいかす
- 5 イメージを豊かにする題材、事物との出会いと環境構成
- 6 鑑賞活動と豊かな感性（情報機器及び教材の活用を含む）
- 7 仲間と創る総合的な表現活動の楽しさー絵本や物語をいかしたパフォーマンス・アーツへー
- 8 乳幼児の素朴な表現の分析・評価、定期試験
- 9

授業の方法

講義に加え、実技や鑑賞活動を取り入れる。

準備学修

Webで参照すること

課題・評価方法、その他

①課題レポートや作品の提出を求め、授業内にフィードバックを行う。
②平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき2点の減点、遅刻1回につき1点の減点とする。

テキスト

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』、厚生労働省『保育所保育指針解説 平成30年3月』、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 平成30年3月』株式会社フレーベル館

参考図書

樋口一成『幼児造形の基礎 乳幼児の造形表現と造形教材』2018年（株）萌文書林、その他適宜配布する

留意事項

日頃から作ったり描いたりすることを生活に取り入れ、様々な自然・人工素材に親しんだりしておく

関連科目〈こども関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等英語		17511	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
高田 悦子	選択	2	幼稚園・小学校にて30年以上、J-shineの小学校指導者認定コースにて10年以上の指導経験あり。		

授業の到達目標

小学校外国語活動・外国語科の学習指導の知識、第2言語習得の基礎的な知識、授業に必要な英語コミュニケーション能力、教材や評価の基礎知識を、小・中・高等学校の連携も視野に入れて身に付ける。
このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

学習指導要領における「3つの資質・能力」を踏まえた「5つの領域」及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法、小学校の外国語教育に必要な基礎的な知識を、以下の「授業計画」の具体的な項目に従って身に付ける。毎回「10分間 Classroom English」を行う。

授業計画

- 1 小学校英語教育の目的(1)小学校学習指導要領の理解
- 2 小学校英語教育の目的(2)世界の言語政策事情
- 3 小学校英語教育の目的(3)異文化理解
- 4 小学校英語教育の目的(4)児童文学
- 5 第2言語習得研究(1)年齢と言語習得
- 6 第2言語習得研究(2)学習と環境
- 7 第2言語習得研究(3)学習者要因、指導者要因
- 8 第2言語習得研究(4)児童期の第2言語習得における語彙習得
- 9 第2言語習得研究(5)児童期の第2言語習得における文法習得
- 10 第2言語習得研究(6)児童期の第2言語習得における音声習得
- 11 技能の育成(1)リスニング
- 12 技能の育成(2)スピーキング
- 13 技能の育成(3)リーディング
- 14 技能の育成(4)ライティング
- 15 まとめ、小学校英語指導に求められる資質と能力

授業の方法

テキストの解説と模擬授業を中心に行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点30%、プレゼンテーション50%、レポート20%

欠席について

3分の2以上の出席が必要。

テキスト

テキストは授業内で購入すること。
適宜プリントを配布する。

参考図書

『小学校英語はじめる教科書 改訂版』吉田研作（監修）小川隆夫、東仁美（著）mpi松香フォニックス 2021
『小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 外国語活動・外国語編』文部科学省、平成30年
その他、必要に応じて、随時紹介する。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等体育			17513	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
山本 正実	選択	2	公立小学校教員			

授業の到達目標

小学校学習指導要領、及び幼稚園要領に基づき、教材の実技を体験する。教材の概略を知って、運動学習の工夫を学ぶ。グループワークを通してKSAISEIパーソナリティK（思いやり）とA（知性）、S（奉仕）の育成を目指す。

授業の概要

小学校体育の教材内容に繋がる実技を通して、運動の楽しさを感じ取る。またグループ活動を通じて、他への思いやりや仲間とのつながりの大切さを学ぶ予定である。

授業計画

- オリエンテーション。自己紹介。初等体育の学習内容について概略を講義、班分け・準備運動をする。
- 体づくり運動系 体ほくしの運動の実技をする。
- 体づくり運動系 体の動きを高める運動の実技をする。
- 陸上運動系 ①走の運動遊び ②障害走 等をする。
- 陸上運動系 ①幅、高跳び遊び ②投の運動 ③リレー 等の実技をする。
- 集団行動について学び、その実技をする。
- 器械運動系 固定施設を使った運動遊び・マット運動の実技をする。
- 器械運動系 跳び箱運動の実技をする。
- 器械運動系 マット・跳び箱運動実技をする。
- ボール運動系 鬼遊び、ドッジボール・ボール蹴り等のゲームをする。
- ボール運動系 ベースボール型のゲームをする。
- ボール運動系 ネット型のゲームをする。
- ボール運動系 ゴール(サッカー)型のゲームをする。
- ボール運動系 ゴール(バスケットボール)型のゲームをする。
- 学習のまとめ、体育学習の工夫等について実技・講義をする。

授業の方法

体育の実技を行う。グループ活動を主として、運動の方法や工夫を話し合い、ともに楽しく運動する予定である。

準備学修

文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育篇、令和2年度版「神戸市小学校体育指導の手引き」を元にした資料等を読み、体育指導について、事前学習及び、復習等を60時間行う。

課題・評価方法、その他

平常点30点、毎時の小テスト（学習カード等）70点

欠席について

欠席はなるべくしない。実技なので参加することに意義がある。

テキスト

使用しない

参考図書

文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育篇 令和2年度版神戸市小学校体育指導のてびき

留意事項

登校できるなら欠席をしない。見学も学習であることを学ぶ予定である。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子どもと健康			17514	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	選択	1	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

授業の到達目標

- 乳幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する
- 乳幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解する
- 安全な生活と怪我や病気の予防を理解する
- 乳幼児期の運動発達の特徴と意義を理解する、以上の4点について理解し、保育指導力（立案・実施・評価・改善）につながる力を身に付ける。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）K（思いやり）を養う。

授業の概要

健康の定義、乳幼児期の健康の意義について詳説する。また、安全教育や怪我・事故については日頃の報道内容に注目し、ICTを活用したり協働学習での発表やディスカッションを行ったりしてPBL（課題解決型）学習を行う。そして、運動を遊びや日常生活に取り入れる保育実践から領域「健康」の内容を理解し、領域「健康」の指導の基盤となる知識・技能を身に付ける。

授業計画

- 健康の定義と乳幼児の健康
- 乳幼児期の心身の発達とその特徴
- 乳幼児期の生活習慣の形成とその意義
- 乳幼児期の安全教育とリスク・ハザード
- 乳幼児期の怪我や事故の特徴と応急処置・病気の予防
- 乳幼児期の運動発達とその特徴
- 乳幼児期の日常生活と集団生活における運動遊び
- まとめを行ってから試験をする

授業の方法

参考資料を配布する。運動遊びの指導案の分析や協働学習と発表を取り入れる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき2点減点、遅刻1回につき1点減点

テキスト

文部科学省『幼稚園教育要領 平成30年3月』、厚生労働省『保育所保育指針解説 平成30年3月』株式会社フレーベル館

参考図書

適宜紹介する

留意事項

日頃から自分の心と体の健康維持に留意し、保育者として子どもに明るく元気な姿で毎日接することができるように努める。また、乳幼児期の体や運動、事故に関する情報に着目し、その特徴を捉えるようにすること。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育内容総論			17555	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
渡邊 恵梨佳	選択	1				

授業の到達目標

幼児の興味や関心、発達の実情などに応じた具体的な指導の在り方を理解し、多様な保育者像、環境、考え方と出逢うことによって、自分なりの保育者像・環境イメージを持てるようになる。「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に示されている内容について十分に理解するとともに、教育・保育の歴史の変遷や現在の取り巻く状況を理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

幼稚園・保育所等就学前教育における子ども理解、保育の計画、環境の構成、援助の実践について知識や理解を深め、保育者として保育を構想する力や実践力を身につける。「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を理解し、幼児教育の基本や環境を通して行う教育を踏まえて、5領域の保育内容の考え方及び指導方法についての基本的事項を習得する。

授業計画

- 1 オリエンテーション:幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園等について
- 2 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の理解
- 3 保育内容の歴史の変遷
- 4 子どもの発達特性(個と集団の育ちを支える保育)
- 5 幼児教育の目指すもの(環境を通して行う保育・教育)
- 6 現代の保育の課題(養護と教育が一体的に展開する保育)
- 7 保育の内容と指導計画
- 8 遊びを体験する(1)手遊び(教材収集)
- 9 遊びを体験する(2)作ったもので遊ぶ(教材研究)
- 10 遊びを体験する(3)手遊びと製作(グループ発表)
- 11 保育内容の展開(1)小学校との接続を踏ふまえた保育
- 12 保育内容の展開(2)家庭や地域との連携をふまえた保育
- 13 保育内容の展開(3)子育て支援、保育の多様な展開
- 14 保育内容の展開(4)特別な支援を必要とする子どもの保育
- 15 まとめ:保育・教育を取り巻く現状と課題や今後の展望

授業の方法

講義とグループワークを中心とする。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

- ①課題の提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。
- ②平常点70% 定期試験30%で評価する。

欠席について

学内規定に準ずる。

テキスト

適宜配布する。

参考図書

「幼稚園教育要領解説」(文部科学省)「保育所保育指針解説」(厚生労働省)「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(内閣府・文部科学省・厚生労働省)

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育内容の研究・表現(造形表現)			17601	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	選択	1	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

授業の到達目標

乳幼児の造形表現遊びを指導するための理論と保育実践例を学び、自らの表現力・鑑賞力を高める。教材や用具の扱い方の基礎基本を理解し環境を構成する力や作品を読み取る力、保育指導案を立案し実践する力を身に付ける。KAISEIパーソナリティのK(思いやり)とI(知性)の育成を目指す。

授業の概要

造形表現における乳幼児の発達や特徴について詳述する。造形表現で扱う材料用具の基礎基本事項と技法について演習を行い、鑑賞活動を通して感性をより高める。教材研究を継続して行い、保育指導案作成のポイントを学び、実践力を身に付ける。造形表現に使う材料を自ら収集し、それらを使って模擬保育や協同学習を行う。授業での制作物の一部は地域や学内の子育ての支援活動に活かす。

授業計画

- 1 領域「表現」のねらいと内容、乳幼児の造形表現の意義について
- 2 造形表現における乳幼児の発達と他領域との関連
- 3 情報機器、視聴覚教材の活用法及び保育指導案の構成と展開
- 4 地域や美術館との連携、小学校教育への接続
- 5 園行事やごっこ遊び、お話の世界と造形表現
- 6 様々な技法や身近な材料、自然物を使った楽しい造形表現
- 7 模擬保育の実践とカリキュラムマネジメント
- 8 まとめを行ってから試験をする

授業の方法

講義と実習を中心とする。学修のまとめとして模擬保育を行い学び合いの機会をもつ。

準備学修

Webを参照すること。

課題・評価方法、その他

- ①製作遊びの作品提出、ワークシート、収集した教材の提出、保育指導案の作成と実践を課題とする。講義においてフィードバックを行う。

- ②平常点70%、定期試験30%

欠席について

欠席1回につき5点減点、遅刻1回につき2点減点とする。

テキスト

樋口一成『幼児造形の基礎 乳幼児の造形表現と造形教材』2018年(株)萌文書林

参考図書

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』、厚生労働省『保育所保育指針解説 平成30年3月』、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 平成30年3月』 株式会社フレーベル館

留意事項

日頃の生活において身近な素材や自然に触れる経験を積み、感性を磨いたり、鑑賞する機会をもったりすること。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教職概論（幼保）			17613	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
松井 敦	選択	2				

授業の到達目標

教職の意義や教員（保育者）の役割を理解する。接続する学校教育や教員（保育者）をめぐる今日的な課題と対応の事例などから学校教育に期待される役割や、今後の教員（保育者）に求められる資質能力について学び自らの適性を見出す。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）の育成を目指す。

授業の概要

社会の急激な変化に伴い様々な課題に直面している学校教育や就学前教育の現状について詳述し、調査、発表の機会をもつ。チームとして諸課題に対応する学校の在り方や教員・保育士の職務内容、職務上や身分上の義務について理解し、自ら目指す教師・保育者像を明確にもつようにする。

授業計画

- 1 教職・保育者論の概要について
- 2 教職・保育職の意義
- 3 幼児教育と小学校教育
- 4 教員の歴史、女性と教職・保育職
- 5 学校園の組織と運営
- 6 教員（保育者）の職務内容
- 7 教員（保育者）に課せられる職務上・身分上の義務と身分保障
- 8 学び続ける教員（保育者）へ（教員・保育者のライフステージと研修制度）
- 9 国際化・情報化と教員（保育者）の役割
- 10 学校園における社会体験とキャリア教育
- 11 様々な問題行動とカウンセリングマインド
- 12 特別な支援を要する乳幼児への対応
- 13 チーム学校（園）の意義と実際について
- 14 今後の教員（保育者）に求められる資質・能力（専門職としての教員）
- 15 まとめを行ってから試験をする

授業の方法

講義を主とするが、ディスカッションと発表を取り入れる。またワークシート他の作成により自己の考えを深め、知識の定着を図る。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

- ①課題レポートの提出を2回求め、講義中にフィードバックを行う。
- ②平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき3点減点、遅刻1回につき1点の減点とする。

テキスト

古橋和夫（編）『新訂 教職入門 未来の教師に向けて』2018年（株）萌文書林

参考図書

秋田喜代美、佐藤学編著『新しい時代の教職入門』改訂版 有斐閣
アルマ、文部科学省『小学校学習指導要領』『幼稚園教育要領』、
内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・
保育要領』

留意事項

保育士資格と幼稚園教諭免許の併有による「保育教諭」としての社会要請も高まりつつある。教員・保育士を目指す養成校の学生として意識を高くもって授業に臨んでもらいたい。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
幼児教育学原理			17617	II	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	選択	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

授業の到達目標

幼児教育の意義や目的、歴史、今日の幼児教育の課題について理解する。また、幼児教育における「環境」「遊び」の意義や、幼稚園教育要領についての理解を深める。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

幼児教育の意義や目的、歴史を学び、そのことを踏まえた上で、幼稚園教育要領を読み解く。幼児教育の実践の様子から、環境構成や遊びにつながる遊びの重要性や、課題を見出しディスカッションや発表を通して、関心を深めていく。

授業計画

- 1 幼児教育の意義
- 2 幼児教育の目的
- 3 子どもの発達と人間形成
- 4 子ども観・教育観の変遷
- 5 諸外国の教育の歴史
- 6 日本の教育の歴史
- 7 子どもの教育に関わる制度と仕組み
- 8 現代の教育課題①
- 9 現代の教育課題②
- 10 幼稚園教育の基本と役割
- 11 幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」
- 12 幼児教育の内容・方法・計画と評価
- 13 多様な幼児教育実践から学ぶ①
- 14 多様な幼児教育実践から学ぶ②
- 15 まとめを行ってから試験をする

授業の方法

参考資料を配布する。DVD視聴やディスカッション、発表を取り入れる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき2点減点、遅刻1回につき減点1点

テキスト

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』株式会社フレール館

参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

留意事項

『幼稚園教育要領』『幼稚園教育要領解説』は保育者になる上で重要な資料となる。保育の概要を理解し保育者を目指す学生として自学自修に励むこと

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育内容の研究・言葉			17633	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	選択	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

授業の到達目標

乳幼児期の言葉の発達の概要を理解する。言葉を獲得し思いを伝え合うようになるための環境や遊び、指導援助の方法について学ぶ。発達を理解し、生活の流れに即した教材選定力や保育指導案の作成力と実践力を身に付ける。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）を養う。

授業の概要

乳幼児の言葉の発達を詳説し、視聴覚教材を活用して、さらにイメージを確かなものにする。そして、言葉の育ちを促す絵本やお話の教材研究や、保育指導案作成と模擬保育を行う。また、発達に即した教材制作を通して言葉を育む環境を整え、乳幼児の豊かな言葉と言語活動を育てる保育を学ぶようにする。

授業計画

- 1 領域「言葉」について
- 2 乳幼児の言葉の育ちを支える要因
- 3 1歳未満児の発達と言葉の獲得
- 4 1歳未満児の言葉の発達を促す保育と教材
- 5 満1歳以上満3歳未満児の発達と言葉の獲得
- 6 満1歳以上満3歳未満児の言葉の発達を促す保育と教材
- 7 満3歳以上の幼児の発達と言葉の獲得
- 8 満3歳以上の幼児の言葉の発達を促す保育と教材
- 9 言葉の獲得において特別な支援を要する乳幼児への保育
- 10 豊かな言葉を育む児童文化(歌、手遊び、言葉遊び)(情報機器及び教材の活用を含む)
- 11 豊かな言葉を育む児童文化(絵本や紙芝居)
- 12 豊かな言葉を育む児童文化(人形劇やペープサート、パネルシアターやエプロンシアター等)
- 13 模擬保育実践とカリキュラムマネジメント
- 14 伝え合い分かり合う楽しい劇遊び(情報機器及び教材の活用を含む)
- 15 まとめを行ってから試験をする

授業の方法

講義を主とするが、言葉を育む保育実践についての発表を加える。また、教材を制作し教育実習や保育実践にいかす。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

- ①課題シートの提出を求め、模擬保育（乳児用・幼児用読み聞かせ指導案や教材の作成を含む）を行う。講義の中でフィードバックを行う。
- ②平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき3点、遅刻1回につき1点の減点とする。

テキスト

岸井勇雄・無藤隆、湯川秀樹[監修]太田光洋[編著]『保育・教育ネオシリーズ20 保育内容・言葉 第三版』2018年（株）同文書院

参考図書

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』、厚生労働省『保育所保育指針解説 平成30年3月』、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 平成30年3月』 株式会社フレーベル館

留意事項

保育の基礎技術を高めるため、わらべ歌や言葉遊び、絵本、幼児用テレビ番組などに日頃から親しんでおくこと。地域の図書館での企画展示やおはなし会などに関心をもち見ておくこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
社会的養護 I			17639	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
曾田 里美	選択	2	児童養護施設職員			

授業の到達目標

社会的養護の理念、歴史、制度と実施体系等について理解する。社会的養護の背景にある社会や家庭における児童問題を学ぶとともに、社会的養護における児童の人権擁護と支援の実践について理解を深めることを目標とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのS（奉仕）を養う。

授業の概要

社会的養護とは何か、なぜ児童問題が起きるのか、社会的養護の体系や児童福祉施設などの役割等について学ぶとともに、子どもたちを積極的に護るための実践を裏づける原理原則について学習する。特に、社会的に子どもを養育する施設では、子どもと家族の育成に積極的にかかわっていくための知見や技術が必要となっている。このため、（1）社会的養護が必要となる養護問題の現状や背景、（2）社会的養護の体系や児童福祉施設などの役割、（3）児童福祉施設などにおける養護の実践を理解し、児童観や施設養護観を身につける。

授業計画

- 1 オリエンテーション 社会的養護トピックス
- 2 私たちが生きる社会
- 3 社会的養護の体系
- 4 施設への入所に至る経過
- 5 施設における生活①
- 6 施設における生活②
- 7 施設における生活③
- 8 施設における生活④
- 9 施設における支援—ライフストーリーワーク—
- 10 施設の利用方式
- 11 利用・契約制度を基本とする施設
- 12 社会的養護の歴史
- 13 施設における支援内容
- 14 里親制度
- 15 まとめ

授業の方法

講義を主とするが、必要に応じて視聴覚教材等で社会的養護の現状

について理解を深める。また、ディスカッションや発表を取り入れ双方向の授業を行う。

準備学修

日ごろから、現代の子どもを取り巻く環境に対して関心を深めておくこと。

課題・評価方法、その他

評価方法は、平常点30%、定期試験70%

欠席について

公欠以外の欠席は原則認めない。欠席は成績評価において減点する。

テキスト

原田旬哉・杉山宗尚 編著『図解で学ぶ保育 社会的養護 I』萌文書林、2018、ISBN 9784893472793

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育内容の研究・環境			17721	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
渋谷 美智	選択	2	公立保育所保育士			

授業の到達目標

近年の社会の変化にともなって、子どもを取り巻く様々な環境も従来とは変わり続けている。この現状をしっかり受け止め、子どもを取り巻く環境のあり方や保育者の役割を理解する。環境が成長過程に影響することが理解でき、その時期にふさわしい環境の構成あるいは環境の取り入れ方が分かるようになる。幼児に影響を与える人的指導場面として保育者が大きな存在となることを踏まえ、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）とE（倫理）の育成を目指す。

授業の概要

幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領の領域「環境」に「周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う」と述べられている。子どもたちが園内外の“自然・文化・人・もの・事象・文字・記号”などに自ら触れ、生きる力を育む直接的体験を積み重ねられる環境を準備するために、保育者自身が様々な環境に対し興味や関心をもち理解し、子どもの主体性を引き出す為どのような環境づくりをしていけばいいのか、指導案作成と模擬保育等を通して、保育者自身も常に主体性を持って環境について学び、専門的な能力を身につけていけるようにする。

授業計画

- 1 保育と「環境」
- 2 領域「環境」とは
- 3 子どもの育ちと領域「環境」(DVD視聴「子どもを育む保育の環境」)
- 4 教室を出ての実験体験とグループワーク
- 5 子どもを取り巻く自然環境
- 6 生き物とのかかわりにおける子どもの育ち(DVD視聴「動物を知る」)
- 7 子どもを取り巻く人的環境
- 8 子どもを取り巻く人的環境(事例検討)
- 9 子どもを取り巻く物的環境
- 10 子どもの活動をひきだす保育環境(数量・図形・文字・標識への興味と認識の育ち)
- 11 子どもの活動をひき出す保育環境(教室を出て実験体験、DVD視聴)
- 12 子どもを育む環境
- 子どもを取り巻く社会的環境

- 13 環境を通した保育の内容・教材研究
- 14 子どもを守り育てる環境
- 気になる子どもと環境
- 15 環境を通した教育・保育の現在の課題 まとめ
- 16

授業の方法

講義を中心とし、内容に沿ったDVD視聴や事例の中から、グループで話し合ったり意見発表を多く取り入れる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%。
レポートの提出や振り替えりテストなどについて講義の中でフィードバックを行う。

欠席について

欠席数は成績評価に反映する

テキスト

「保育内容 環境 あなたならどうしますか？」岡澤陽子、杉本裕子、平野麻衣子、松山洋平、山下文一、萌文書林

参考図書

保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領解説 フレーベル館
3,4,5歳児が夢中になる実践「造形遊び」 平田智久監修 ナツメ社
あそびうた大全集 永岡書店

留意事項

教室を出ての実験体験等を含むので、授業計画が変更する可能性がある為、教務課前のボードをよく注意して見ておくこと

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
幼児教育指導法			17725	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	選択	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

授業の到達目標

幼児期の教育・保育の実践にあたり、基本となる教育内容の再認識と指導力の習得をめざす。この科目ではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

授業の概要

幼児期の教育の基本を再認識するとともに、視覚教材を通して、子どもの生活や遊びの具体について学ぶ。また教材研究と演習、指導案作成と模擬保育を通して、教師の役割について実践的な習得をめざす。

授業計画

- 1 幼児の生活と幼稚園の役割、幼児期の発達の特徴
- 2 領域「健康」と指導法①
- 3 領域「健康」と指導法②
- 4 領域「人間関係」と指導法①
- 5 領域「人間関係」と指導法②
- 6 領域「環境」と指導法①
- 7 領域「環境」と指導法②
- 8 領域「言葉」と指導法①
- 9 領域「言葉」と指導法②
- 10 領域「表現」と指導法①
- 11 領域「表現」と指導法②
- 12 子どもの遊びを見取り、保育を構想する
- 13 模擬保育とカリキュラムマネジメント①
- 14 模擬保育とカリキュラムマネジメント②
- 15 まとめを行ってから試験をする

授業の方法

幼稚園生活の様子をDVDを視聴したり、フォトカンファレンスをしたりしながら学修を進める。また、教材作成、実技演習、グループディスカッションなどを通して、指導力の基礎を身に付ける。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

- ①教材作成や指導案作成、模擬保育実践を行い、授業内で教員によるフィードバックを行う
- ②平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき3点減点、遅刻1回につき1点減点とする。

テキスト

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』、厚生労働省『保育所保育指針解説 平成30年3月』、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 平成30年3月』株式会社フレーベル館

参考図書

文部科学省『幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開』チャイルド本社

留意事項

自分の得意分野をいかす教材作成や指導案作成・保育実践を自信をもって行うことを期待する